

## 大田区新基本計画

### 第1回

# 大田区新基本計画策定に係る 区民ワークショップ 実施報告書

# 目次

第1章 「第1回 大田区新基本計画策定に係る 区民ワークショップ」について	3	第3章 アンケート	23
1-1. 開催の目的	4	3-1. ワークショップに参加した理由	24
1-2. 開催概要	5	3-2. ワークショップに対する参加者の満足度	25
1-3. 実施方法(ワールドカフェとは)	6	3-3. 今後の区民参画への意向	26
1-4. 当日のスケジュール	7	3-4. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと	27
第2章 区民の皆様からのご意見	10		
2-1. 全体概要	11		
2-2. 第3ラウンドの意見	14		
2-3. テーブルの意見	20		

# 第1章

## 「第1回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」 について

# 第1章 「第1回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

## 1-1. 開催の目的

### 目的

- 令和3年度から始まる新たな基本計画の策定にあたり、区民参画の機会を確保するとともに、区民の大田区への思いやご意見を伺います。
- 区民の方からのご意見は、各施策のあるべき姿(目指す姿)の検討や施策立案に活用し、新たな基本計画へ反映します。

11月13日(水)、11月15日(金)、11月16日(土)

### 第1回区民ワークショップ

- まちの方向性(あるべき姿)の検討
- ワールドカフェ方式で、広く区民から各施策のあるべき姿(目指す姿)をご意見として集める

12月11日(水)、12月13日(金)、12月14日(土)

### 第2回区民ワークショップ

- まちの課題を検討・抽出
- グループワーク形式で6分野の課題を抽出する
- 割り当てられた担当分野での課題を掘り下げる

# 第1章 「第1回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

## 1-2. 開催概要

開催日時	令和元年11月13日(水) 14時00分～17時00分 令和元年11月15日(金) 18時00分～21時00分 令和元年11月16日(土) 14時00分～17時00分
開催場所	入新井集会室(Luz大森) 大田区役所本庁舎 2階 201～203会議室
対象者	区内在住の15歳以上の方
募集方法	無作為抽出により区内8,000人に案内状を送付
参加者	176名(全3回合わせて)
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ご自身の経験や思いを踏まえつつ、大田区の魅力や理想像に関して、テーマに沿った話し合いを行う。</li><li>■ 1テーマが終わるごとに、席替えをしながら、合計3つのテーマについて多様な方と話し合いを行う。</li><li>■ 意見交換後、「10年後の大田区はどんなまちになって欲しいか？」について、最も印象に残った意見を2枚ずつ付箋に書き出す。</li><li>■ その後、「子育て・教育」「健康・福祉」「都市基盤・空港臨海部」「産業」「地域力」「環境」の意見分類別の模造紙に付箋を貼り付け、全体で意見共有を行う。</li></ul>

# 第1章 「第1回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

## 1-3. 実施方法(ワールドカフェとは)

- 「ワールドカフェ」とは、ワークショップの手法の一つであり創造的なアイデアを生み出すための対話の手法です。参加者はグループに分かれ、度々メンバーを替えながら対話を重ねること(ラウンド制)により、参加者全員が考えや知識を共有しているような雰囲気生まれ、創造的なアイデアにつながる事が期待できます。

### ①カフェのようにくつろいだ雰囲気

- 創造的なアイデアは、会議室の中ではなく、オープンに会話ができるカフェのような場所でこそ生まれると言われている。
- そこで、カフェでくつろいでいるような雰囲気の中、テーマに集中した対話を行う。

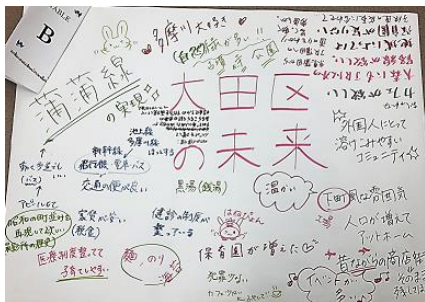


当日の様子

- くつろいだ雰囲気の中で、創造的なアイデアが創出しやすくなる。

### ②思いついたことを自由に記載

- 模造紙を用意し、会話をしながら自由にアイデアを記載する。
- ラウンドが移り、新しくそのテーブルに来た人は、既に書かれている内容を確認しながら、会話し、自分のアイデアを追記していく。



様々なアイデアが書かれた模造紙

- 他者の意見を理解できると共に、新しい意見を創出しやすくなる。

### ④付箋による意見の整理

- 参加者が最も印象に残ったアイデアを大きな付箋(ポストイット)に書き出し、模造紙に貼り出す。
- ファシリテーターが付箋を分類・整理しながら、全体で意見を共有する。



意見が書かれた付箋を全体で共有

- 全員の意見を整理することで、意見集約に繋げることができる。

### ③ラウンドごとにメンバー交換

- グループ毎に(1グループ4名~6名)、決められたテーマについて話し合う。1ラウンド15~20分程度で数ラウンド行う。
- ラウンドごとにホスト一人を残してそれ以外のメンバーは席を移り、新たなテーマについて話し合う。



活発な意見交換

- 参加者全員で話し合っているような効果が生まれる。

# 第1章 「第1回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

## 1-4. 当日のスケジュール (1) 全体スケジュール

項目	内容
開催挨拶	■ 参加者への謝辞、開催の挨拶
開催の趣旨説明・区の現状説明	■ 開催趣旨、区の人口、財政状況などの説明
ワールドカフェの進め方説明	■ ワールドカフェの特徴や、進め方の説明
アイスブレイク(9マス自己紹介)	■ グループの中で自己紹介
話し合い(第1ラウンド)	■ テーマに沿った話し合い 「大田区に住んで良かったこと、大田区の特徴は何ですか？」
席替え・第1ラウンド結果共有	■ 席の移動後、ホストを中心に話し合いの結果を共有
話し合い(第2ラウンド)	■ テーマに沿った話し合い 「他のまちにはない、“大田らしさ”とは何でしょうか？」
席替え・第2ラウンド結果共有	■ 席の移動後、ホストを中心に話し合いの結果を共有
話し合い(第3ラウンド)	■ テーマに沿った話し合い 「10年後の大田区はどんなまちになっていて欲しい？」
席に戻る・振り返りタイム	■ 個人での振り返り、意見整理(付箋作成)
全体共有	■ 意見の分類(模造紙への付箋貼り付け)
第2回区民ワークショップの案内	■ 次回開催ワークショップの日時連絡

# 第1章 「第1回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

## 1-4. 当日のスケジュール (2) 話し合いのテーマ

- 3ラウンドにわたって、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行いました。

	話し合いのテーマ
第1ラウンド	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 「大田区に住んで良かったこと、大田区の特徴は何ですか？」</li></ul> <p>ホスト1名を残して、それ以外のメンバーは席替え(別のテーブルへ移動)</p>
第2ラウンド	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 「他のまちにはない、“大田らしさ”とは何でしょうか？」</li></ul> <p>ホスト1名を残して、それ以外のメンバーは席替え(別のテーブルへ移動)</p>
第3ラウンド	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 「10年後の大田区はどんなまちになっていて欲しい？」</li></ul> <p>ホスト1名を残して、それ以外のメンバーは席替え(元のテーブルへ移動)</p>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 第1～3ラウンドまでを振り返る。</li><li>■ 第3ラウンドで最も印象に残った意見を2つ付箋に書き、模造紙に貼り付けた後、会場全体で意見を共有する。</li></ul>



# 第1章 「第1回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

## 1-4. 当日のスケジュール (3) 振り返りタイム

- 話し合いの結果、参加者は、第3ラウンドで最も印象に残った意見2つを付箋に記載しました。
- その後、付箋を基本目標に応じた以下の「意見の分類項目」別に、模造紙に貼り付けました。

### 基本目標

1	生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
3	地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

### 意見の分類項目

子育て・教育
健康・福祉
都市基盤・空港臨海部
産業
地域力
環境

## 第2章

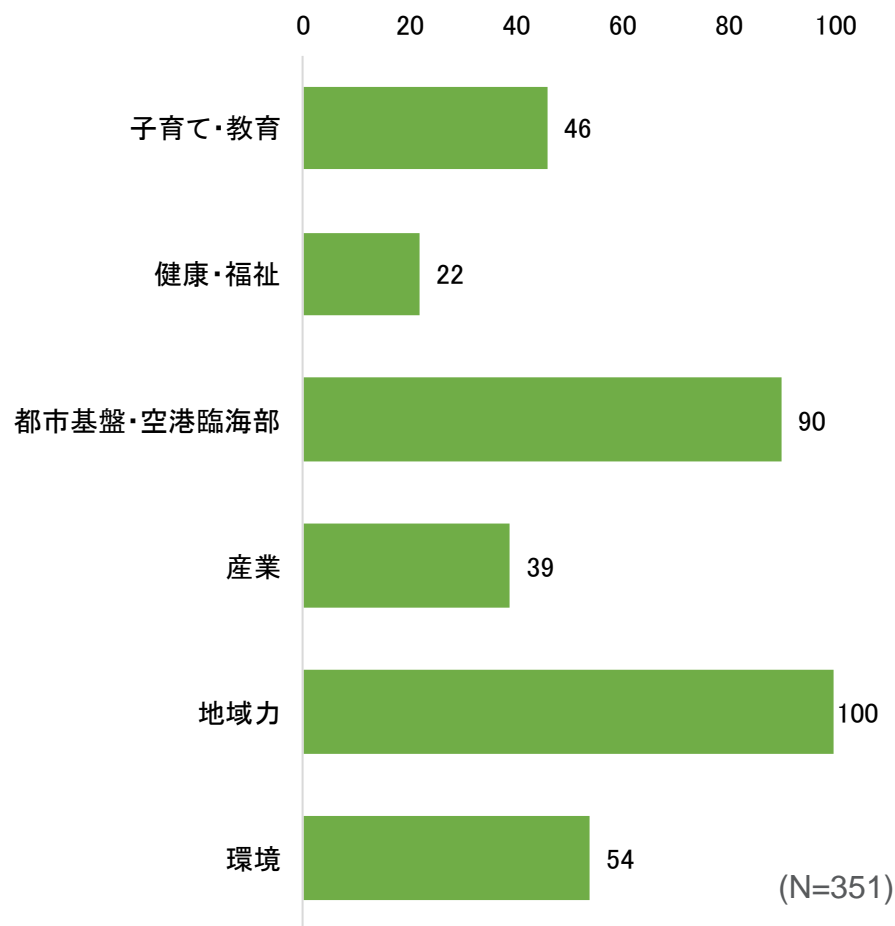
### 区民の皆様からのご意見

## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-1. 全体概要①

分類項目ごとの意見数

全3回分の意見

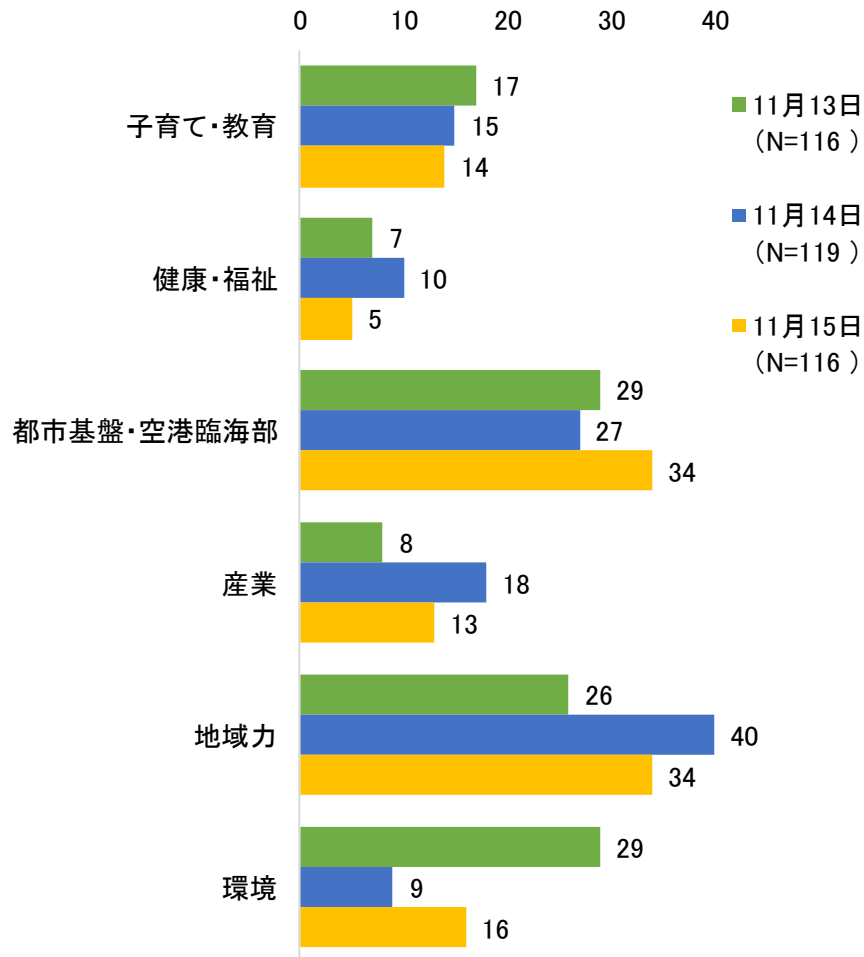


- 意見が書かれた合計351枚の付箋を6つの分野ごとに分類しました。
- その結果、「地域力」に関する意見が100件と最も多く、次いで「都市基盤・空港臨海部」が90件、「環境」が54件、「子育て・教育」が46件、「産業」が39件、「健康・福祉」が22件となりました。

## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-1. 全体概要①

分類項目ごとの意見数



- 11月13日の回は、「都市基盤・空港臨海部」と「環境」に関する意見が29件と最も多く、次いで「地域力」が26件、「子育て・教育」が17件、「産業」が8件、「健康・福祉」が7件という結果になりました。

- 11月15日の回は、「地域力」に関する意見が40件と最も多く、次いで「都市基盤・空港臨海部」が27件、「産業」が18件、「子育て・教育」が15件、「健康・福祉」が10件、「環境」が9件という結果になりました。

- 11月16日の回は、「都市基盤・空港臨海部」と「地域力」に関する意見が34件と最も多く、次いで「環境」が16件、「子育て・教育」が14件、「産業」が13件、「健康・福祉」が5件という結果になりました。

## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-1. 全体概要②

- 「子育て・教育」では子育て、「健康・福祉」では高齢者福祉、「都市基盤・空港臨海部」では防災、「産業」では観光、「地域力」ではコミュニティ形成、「環境」では自然環境に関する意見が特に多くあがりました。

意見分類	意見概要	意見分類	意見概要
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 子育てしやすい安心できるまちづくり</li> <li>✓ 区立保育園の増加(待機児童0)</li> <li>✓ すべての公立小学校に放課後教室を開設</li> <li>✓ 子供の成長に応じた施設が充実しているまち</li> <li>✓ 国際理解や英語の教育を幼少からできるまち</li> </ul>	産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「大田区」が目的となる観光業の創造</li> <li>✓ IT会社のメッカになる、IT会社を大田区に集約する</li> <li>✓ 町工場の技術を残す</li> <li>✓ 地域特性を残した経済発展、成長するまち</li> </ul>
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 子ども、高齢者、弱者にやさしい、住みやすいまち</li> <li>✓ 子どもから高齢者まで話す場所があるまち</li> <li>✓ 福祉の充実</li> <li>✓ 医療費の助成の充実</li> </ul>	地域力	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 困っている人を助け合えるまちにしてほしい</li> <li>✓ 顔が見える安全な地域社会</li> <li>✓ ローカルな雰囲気を残しながら国際的なまち</li> <li>✓ 治安のいいまち</li> <li>✓ 歴史の残るまち</li> </ul>
都市基盤・空港臨海部	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 災害に強い都市づくり</li> <li>✓ ITを活用して誰でも情報がすぐに手に入るまち</li> <li>✓ 交通網の強化・コミュニティバス・蒲蒲線</li> <li>✓ 羽田空港を中心に人の流れが大きいまち</li> <li>✓ 観光の個性化と住みやすさの両立</li> </ul>	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自然がたくさんあるまち</li> <li>✓ 災害対策がしっかりしているまち</li> <li>✓ クリーンなまち</li> <li>✓ 景観がきれいで安全なまち</li> <li>✓ 温暖化対策に力を入れる</li> </ul>

## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-2. 第3ラウンドの意見 ①子育て・教育

- 「子育て・教育」については、子育て、教育サービスに関する意見がありました。

#### 主な意見

No	内容
1	子育てサポートの充実
2	子供が安全に過ごせるまち
3	子育てしやすい安心できるまちづくり
4	子供の声が多く聞こえるまち
5	待機児童0
6	区立保育園の増加
7	すべての公立小学校に放課後教室を開設
8	道路がバリアフリーになってベビーカーで出かけやすいまち
9	受動喫煙ゼロのまち
10	区民センターが無料で借りられて、子育てママが集まりやすくなるまち
11	子供の成長に応じた施設が充実しているまち
12	教育のトップランナー（科学力向上）
13	学力がアップしたまち
14	働きたい人が働ける場所づくりとそれが見つけやすいまち
15	子供も高齢者も同じ場所がかかわることができる、つながりが持てる
16	安心安全に住めて、子供たちと一緒にいろいろな場所、国へ行けるまち
17	国際化の共有→もっと英語に親しむ
18	国際都市という立場をいかして国際理解教育を幼少からできるまち
19	多様性に対応できるようになる
20	外国人の受皿、日本語教育、安全

#### 意見概要

- ✓ 子育てしやすい安心できるまちづくり
- ✓ 子どもが安心して過ごせるまち
- ✓ 区立保育園の増加(待機児童0)
- ✓ すべての公立小学校に放課後教室を開設
- ✓ 子どもの成長に応じた施設が充実しているまち
- ✓ 国際理解や英語の教育を幼少からできるまち

## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-2. 第3ラウンドの意見 ②健康・福祉

- 「健康福祉」については、世代や立場に応じた社会環境整備、高齢者サービスなどに関する意見がありました。

#### 主な意見

No	内容
1	病院が多い
2	医療費の助成の充実
3	福祉の充実
4	福祉施設を充実させる
5	福祉教育の充実したまち
6	高齢者が不自由なく暮らせるまち
7	元気なお年寄りが楽しく過ごせる場所、機会が多い
8	各世代すべてが暮らしやすいまち
9	人と仲良くなること
10	障がい者がもっと活躍できる社会を
11	おとしより、こども、障がいのある人が安心して住めるまち
12	保育士が減少しているため外部からの手助けがほしい
13	老人のための足、安いタクシーとか小型バスの乗り入れがあると嬉しい
14	コミュニティーバスの便数を増やす、路線を充実（高齢者対策として）
15	子供から高齢者まで話す場所があるまち、ワークショップみたいな空間
16	現在は流入もあり人口増加傾向にあるが、将来的な高齢化を見据える
17	公園の運営を戦略的に行い、健康、緑化の推進
18	スポーツに力を。スタジアムやイベントを増やす。土手をもっと水はけよく整備する。

#### 意見概要

- ✓ 子ども、高齢者、弱者にやさしい、住みやすいまち
- ✓ 子どもから高齢者まで話す場所があるまち
- ✓ 福祉の充実
- ✓ 医療費の助成の充実
- ✓ 元気なお年寄りが楽しく過ごせる場所
- ✓ 障がい者がもっと活躍できる社会

## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-2. 第3ラウンドの意見 ③都市基盤・空港臨海部

- 「都市基盤・空港臨海部」については、交通網の整備、災害対策の強化に関する意見がありました。

#### 主な意見

No	内容
1	災害に強い街づくり
2	防災モデル都市になってほしい
3	適正な避難場所の特定
4	ITを活用して誰でも情報がすぐに手に入るまち
5	自然災害に対して区民の命をしっかりと守るまち
6	防災対策の充実、施設、情報の一極化
7	移動がしやすい町（道路、エスカレーターなど含めて）
8	区内の道路は車が相互に通行可能な道路に
9	駐車場の強化
10	交通渋滞の緩和、環八大通り
11	車も自転車もベビーカーも人も通りやすい道を
12	移動がしやすいまち（道路、エスカレーターなど含めて）
13	京急蒲田と東急蒲田のアクセスをよくする
14	交通網の強化・コミュニティバス・蒲蒲線
15	ボールが使用できる公園や土手をもっと開放してほしい
16	緑豊かなまち、地域
17	下町の風情が感じられるまち
18	羽田空港を中心に人の流れが大きいまち
19	世界中から人が集まってきやすい、また、行きたい目的地になる
20	観光の個性化と住みやすさの両立

#### 意見概要

- ✓ 災害に強い都市づくり
- ✓ 防災対策の充実、施設、情報の一極化
- ✓ ITを活用して誰でも情報がすぐに手に入るまち
- ✓ 交通網の強化・コミュニティバス・蒲蒲線
- ✓ 羽田空港を中心に人の流れが大きいまち
- ✓ 観光の個性化と住みやすさの両立



## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-2. 第3ラウンドの意見 ④産業

- 「産業」については、観光業の整備、中小企業を中心とした町工場への支援に関する意見がありました。

#### 主な意見

No	内容
1	商業施設、オフィスビルがもっとおしゃれにかっこよく
2	区内の名所、歴史を巡るバス&グルメツアー
3	羽田空港を食事、遊びの空間として発展させる
4	羽田空港のまわりで外国人も地元の人もwin winで楽しめるコミュニティー施設
5	地下空間を利用した新しい街づくり
6	「大田区」が目的となる観光業の創造
7	世界のモデル都市になってもらいたい
8	海外からの旅行者へのアピール
9	商店街を元気に
10	IT会社のメッカになる、IT会社を大田区に集約する
11	高齢者の働く場所の充実、情報が見つけやすい街
12	大田区の歴史を生かしたい
13	大田区の良さがもっと広く知ってもらいたい（ブランディング）
14	中小企業が生き生きしている町
15	町工場技術を残す
16	大田区ブランド、町工場の横のつながり、区民参加型
17	蒲田、大田区のローカル感を残しつつ住み良いまち
18	昭和の香りの残る街
19	利便性と街の本来の姿、個性（昭和風の町工場）が両立できる町
20	地域特性を残した経済発展、成長するまち

#### 意見概要

- ✓ 「大田区」が目的となる観光業の創造
- ✓ 大田区のPR・ブランディング
- ✓ IT会社のメッカになる、IT会社を大田区に集約
- ✓ 町工場の技術を残す
- ✓ 地域特性を残した経済発展、成長するまち

## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-2. 第3ラウンドの意見 ⑤地域力

- 「地域力」については、コミュニティ形成や生活環境の整備に関する意見がありました。

#### 主な意見

No	内容
1	バラエティに富んだ世代、国の人交流しあい、温かく楽しく暮らせるまち
2	困っている人を助け合えるまちにしてほしい
3	住民が交流できる場がある住みやすいまちを作りたい
4	顔が見える安全な地域社会
5	ライフステージに応じた地域での支援、乳幼児から高齢者などすべての
6	一生暮らしたいと思うまち
7	発信力の高いまちづくり（インターネットの活用、Youtubeなど）
8	ローカルな雰囲気を残しながら国際的なまち
9	外国人が住みやすい街ナンバーワン グローバル大田
10	外国語アレルギーのない人が多いまち
11	人情味のあるまち
12	緑が多く子供の声がいつも聞こえるまち
13	考古学発祥の地
14	誰でも年齢問わず語学が学べるところがあるといい、国際化
15	マナーも国際化へ
16	観光地と住宅街がすみ分けられたまちにしてほしい
17	区の情報のプラットフォーム化
18	歴史の残るまち
19	イベント周知、インフラ整備
20	区内を走るマラソン大会

#### 意見概要

- ✓ 困っている人を助け合えるまちにしてほしい
- ✓ お年寄りと若者が交流できる場所がある
- ✓ 顔が見える安全な地域社会
- ✓ ローカルな雰囲気を残しながら国際的なまち
- ✓ 治安のいいまち
- ✓ 歴史の残るまち

## 第2章 区民の皆様からのご意見

### 2-2. 第3ラウンドの意見 ⑥環境

- 「環境」については、自然環境の保全、災害対策、景観の整備に関する意見がありました。

#### 主な意見

No	内容
1	自然がたくさんあるまち
2	緑の多いまち
3	今ある自然や大きな公園をそのまま残して行ってほしい
4	豊かな自然文化の存在を保つまち
5	多様な生き物が棲む環境
6	治安的にも環境的にも暮らしやすい区に
7	クリーンなまち
8	まち単位で景観保護する
9	駅やホームをきれいに、雨が当たらないようにしたい
10	歩行者レーンに電柱がなく誰でも安全に歩きやすく
11	災害対策がしっかりしているまち
12	防災、水害に強いまちづくりを目指して
13	外国人のために災害対策のアプリなどがあってほしい
14	車を持っていなくてもお年寄りが外出しやすい環境を作ってほしい
15	住んでいる人と外部から訪れる人が共存できるまちになってほしい
16	環境問題を生活で実践できるまち（温暖化）
17	温暖化対策に力を入れる
18	リサイクル率NO.1のまち
19	ごみ集積場所の指定管理を行政で行い環境美化を図る区
20	夜のごみ収集で犯罪予防できるまち→安心なまち

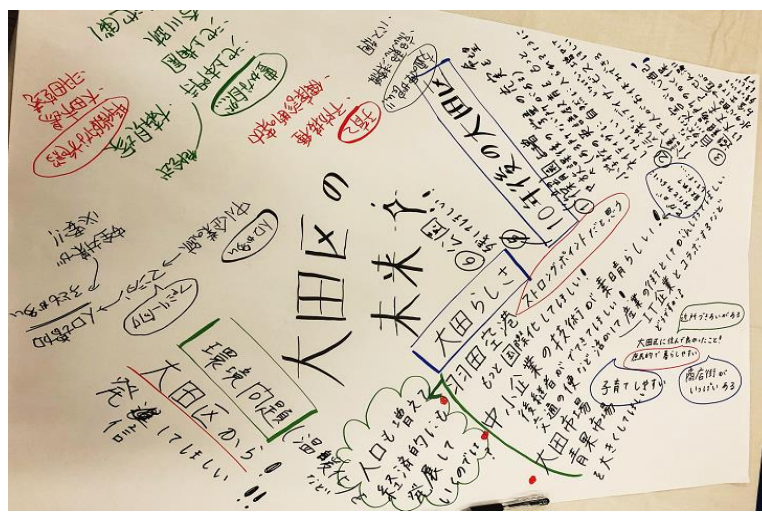
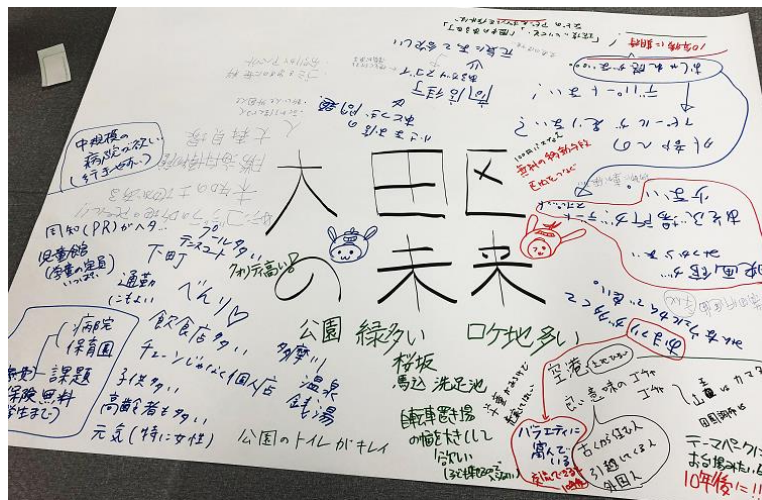
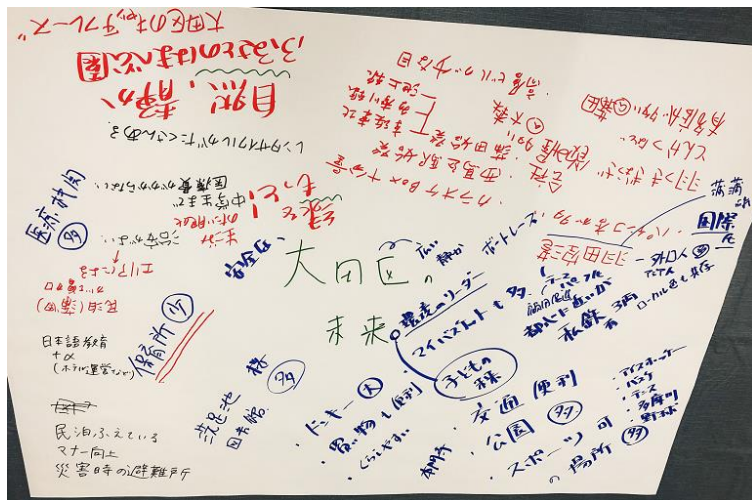
#### 意見概要

- ✓ 自然がたくさんあるまち
- ✓ 災害対策がしっかりしているまち
- ✓ クリーンなまち
- ✓ 景観がきれいで安全なまち
- ✓ 温暖化対策に力を入れる

# 第2章 区民の皆様からのご意見

## 2-3. テーブルの意見 11月13日(水)

意見が書かれた模造紙  
(一例)







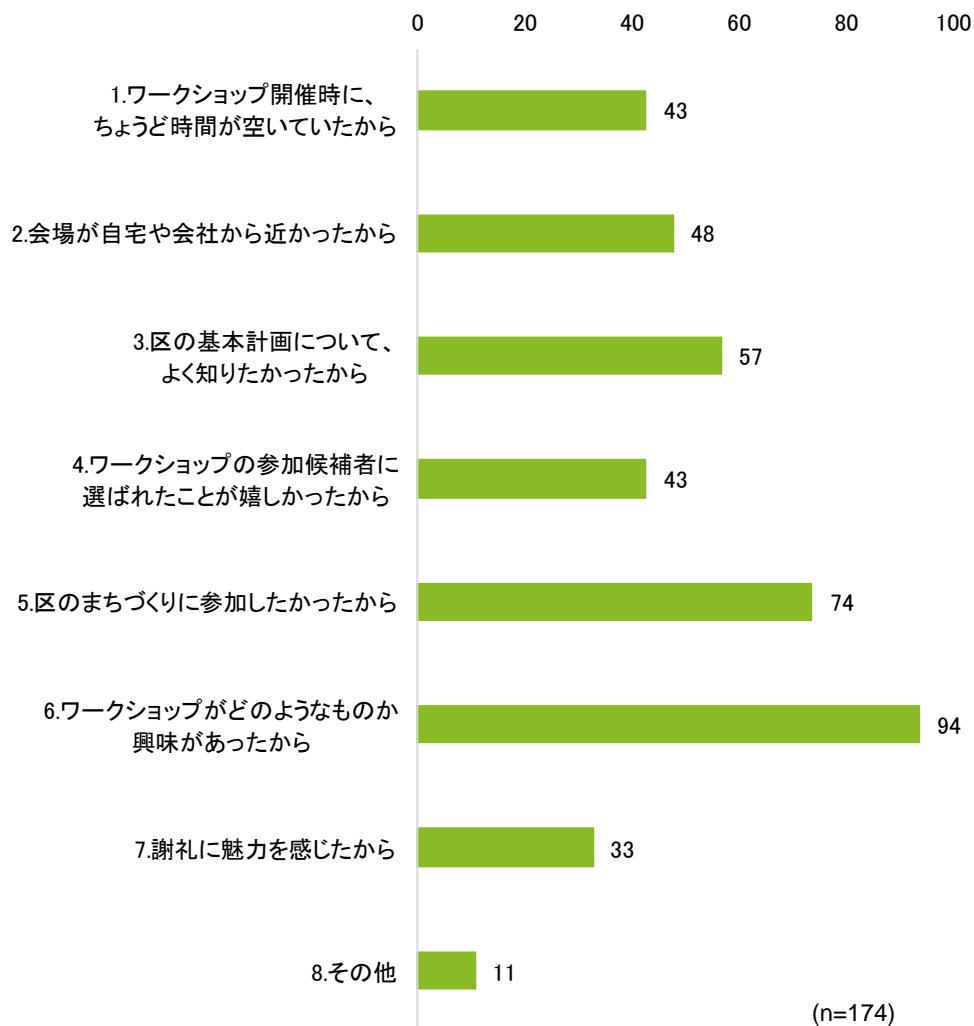
## 第3章

# アンケート

# 第3章 アンケート

## 3-1. ワークショップに参加した理由

### 1. 本日参加された理由をお聞かせください(複数選択可)。



■ 174人から回答を得ることができました。

■ その結果、「ワークショップがどのようなものか興味があったから」に該当する意見が94件で最も多く、次いで「区のまちづくりに参加したかったから」が74件、「区の基本計画について、よく知りたかったから」が57件、「会場が自宅や会社から近かったから」が48件、「ワークショップ開催時に、ちょうど時間が空いていたから」と「ワークショップの参加者に選ばれたことが嬉しかったから」が43件、「謝礼に魅力を感じたから」が33件、「その他」が11件となりました。

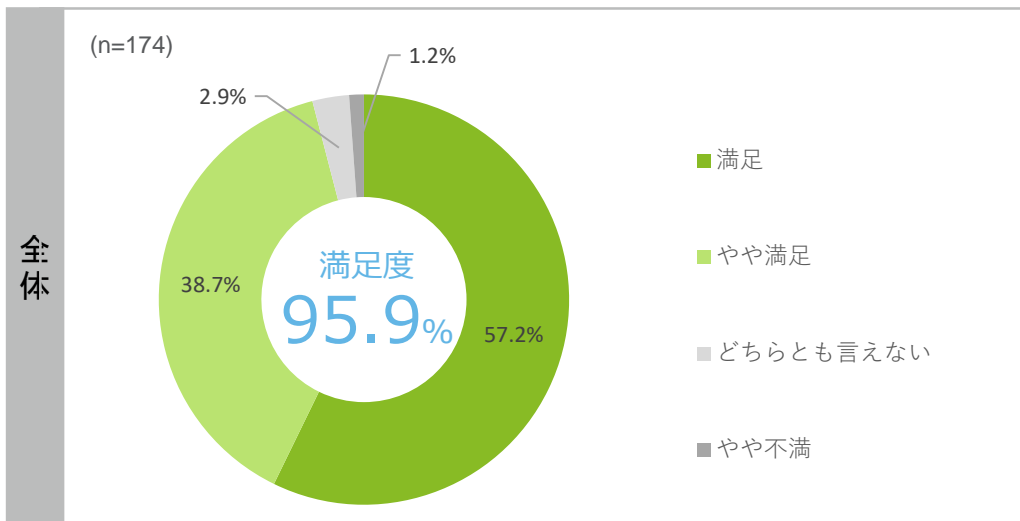


# 第3章 アンケート

## 3-2. ワークショップに対する参加者の満足度

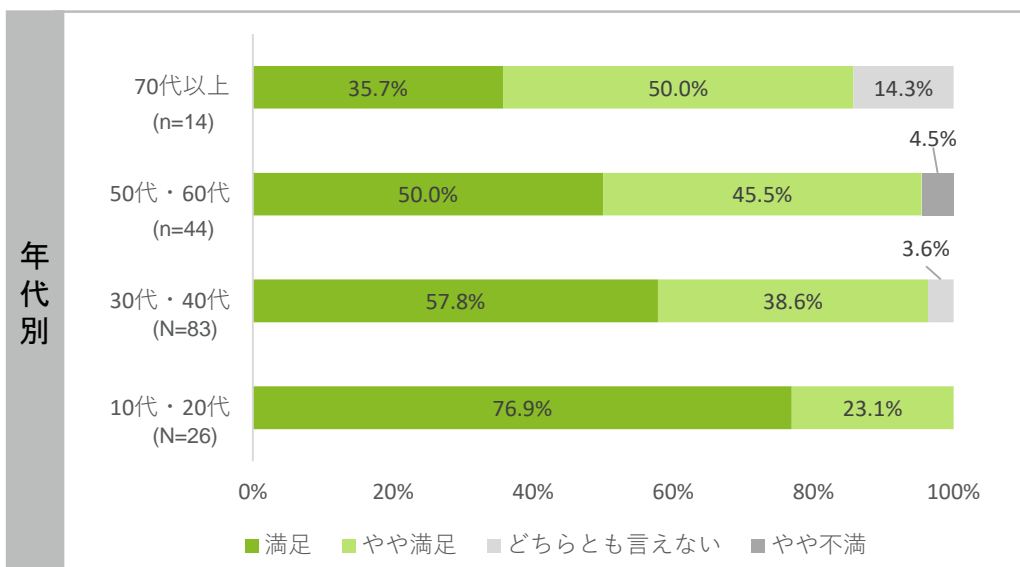
ワークショップについて9割以上が「満足(満足+やや満足)」と回答しました。

### 2-1. 本日参加された感想をお聞かせくださいー本日の区民ワークショップは満足いただけましたか？



#### ▼ 主な意見【満足点】

- ✓ 色々な年齢や立場の方から貴重な意見を聞くことができた
- ✓ 大田区の未来について真剣に考えることができた
- ✓ 大田区の魅力を再認識できた
- ✓ 大田区の方針や特徴を知る良い機会となった



#### ▼ 主な意見【不満点】

- ✓ 話合いの時間が少ない
- ✓ 発散のフェーズだったと思うがもう少しテーマを絞って意見出しをすると深い意見が出ると思う
- ✓ 事前に資料がほしかった

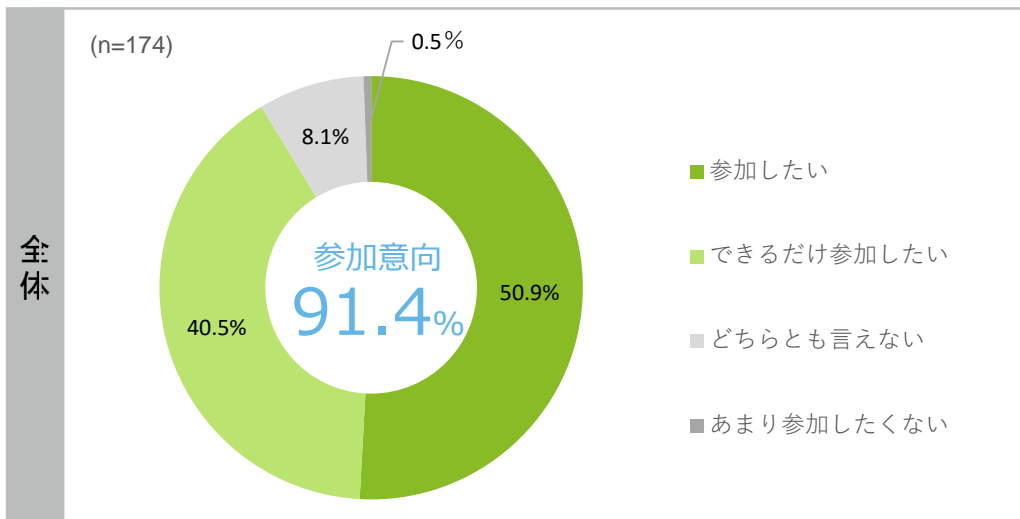
※年齢未回答者(7名)については、年代別の集計結果には含めていません。

# 第3章 アンケート

## 3-3. 今後の区民参画への意向

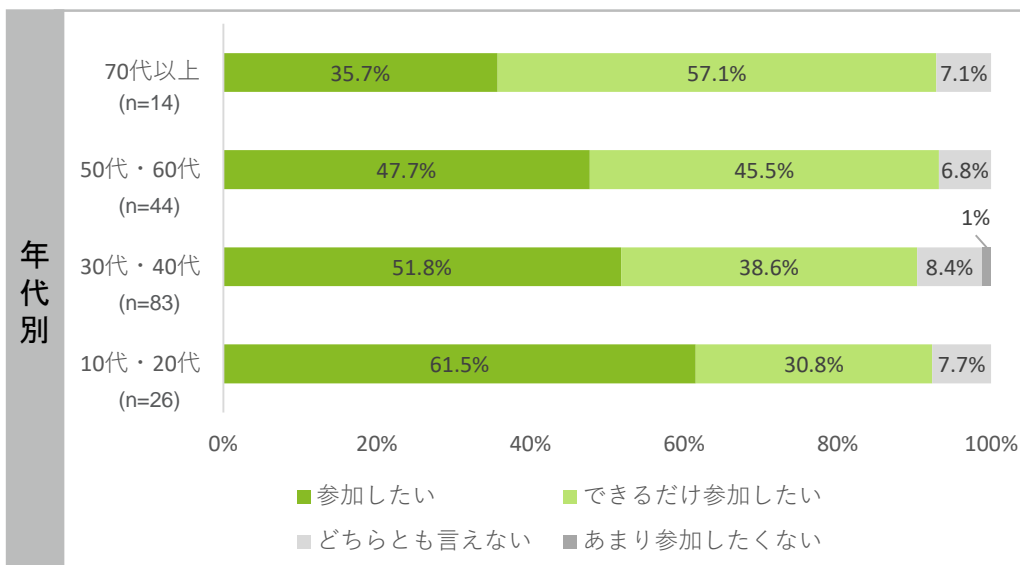
今後の区民参画についても9割以上が「参加したい(参加したい+できるだけ参加したい)」と回答しました。

### 2-2. 本日参加された感想をお聞かせくださいー区民参画の機会があれば、また参加したいと思いますか？



#### ▼ 主な意見【参加したい理由】

- ✓ 今回のワークショップがよかったから
- ✓ 普段話す機会のない人と話すことができるため
- ✓ 異なる世代の考え方から自分の視点も広げられたため
- ✓ 大田区の姿勢を少し知ることができるため
- ✓ 自分たちの未来づくりに参加したい



#### ▼ 主な意見【参加したくない理由】

- ✓ 必ずしも時間がとれるとは限らないから

※年齢未回答者(7名)については、年代別の集計結果には含めていません。

## 第3章 アンケート

### 3-4. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと①

3.本日の区民ワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

分類	内容
大田区について	• 大田区としての取り組みを知る、学ぶ機会がないため、発信を増やしてほしい
	• 大田区内でもよく知られている地域と知られていない地域に差を感じた
	• 大田区基本構想等の冊子があることを知らなかったので、閲覧できる場所をアピールしてほしい
	• 若い人も含め、大田区の今の雰囲気、町を残したい人が多いことにおどろきました
	• 大田区の物理的な広さや住んでいる人の多様性を実感
計画の策定について	• 新基本計画策定時に、ワークショップ結果がどのように反映されるのか、具体的な説明がほしい
	• 基本構想(平成20年版)の中で、現在どこまで実現できたのかしりたい。計画策定だけで終わらせないようにしてほしい
ワークショップの運営について	• 区民参加型というのはとてもいい発想と思いました
	• 移動型のワークショップだったので多くの意見交換できたのがよかった
	• 時間を効率よく区切って進行されたことがよかった
	• ホスト役に関して、進行の得意・不得意があるため(特に高齢者)、改善した方が良い
	• 参加前にテーマを伝えてもらえれば、もう少し考えをまとめることができた
	• 区役所の職員も話し合いに積極的に参加してほしい
	• 基本計画の説明をする際に、基本構想(平成20年～令和10年)の説明がほしかった

## 第3章 アンケート

### 3-4. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと②

3.本日の区民ワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

分類	内容
ワークショップの感想	• いろいろな地域、年代、職業の方も話し合いができるよい機会だった
	• 年代でフォーカスした項目があり、見る視点が違っていたりしていろいろ考えさせられた
	• 大田区についてじっくり考えるよい機会になった
	• 大田区のアットホーム感が溢れた素敵なワークショップだった
	• 時間が3時間で「長い」というイメージだったが、実際にはテーブルを移動しての方法であったため、時間が過ぎるのが早く、楽しめた
	• 参加者のマインドが高く、活発な議論ができた
	• ワークショップに参加することで、大田区のことをまた一つ好きになった
	• 席の人数がテーブル毎に違うので、発表時など時間配分が難しかった
	• 会場はもっとポップでおしゃれなくつろげる場所がいい(区施設外で！)
	• 今回のようなワークショップが、より多く開催されると、区民としても区の課題を考える機会となると思う